

2 学校体育の充実

- (1) 教員の資質能力の向上と授業改善に向けた研修の充実
 ア 悉皆研修や短期研修講座等（体育・保健体育）の充実
 (ア) 短期研修講座
 a 自信がつく水泳指導法講座

目 的	豊かなスポーツライフを実現できる児童生徒を育成するために、水泳指導の在り方について講義や実技を通して理解を深め、教員の資質能力の向上を図る。		
期日・会場	令和元年6月4日（火）・5日（水） 鴨池公園水泳プール	参加者数	7人
対 象	全校種の教員		
成果・課題	水遊びから泳法指導まで幅広く授業づくりの提供ができた。講師の選定を早めに行うとともに、多くの方に参加していただける講座内容を検討する。		
令和2年度の予定	令和2年6月10日（水） 鴨池公園水泳プール		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」

学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、新学習指導要領改訂のポイントや「指導と評価の一体化」を学びました。

学習指導要領の変更点、また、変更されていない部分についてわかりやすく教えて頂きました。体育の評価規準は曖昧になりがちなので、学年ごとに共通した規準を作成していきたいと思いました。



2 実技「水遊び、浮く・泳ぐ運動、泳法指導」「着衣泳と安全指導」

水遊び→浮く・泳ぐ運動→泳法（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ）への段階的な指導法や、着衣泳及び溺者を救助する方法等の安全指導について学びました。



【泳法指導（平泳ぎ）】

スモールステップによる段階的指導法や部分的な練習の大切さを感じました。

子供同士でもできる補助の仕方を教えて頂けて大変参考になりました。



【泳法指導（クロール）】

3 研究協議「水泳指導、体育指導上の課題解決」

水泳指導及び体育指導上の課題についてグループに分かれて協議し、出された意見等を全体で共有し、解決策を考えました。

他校の先生方と意見交換や課題を共有させてもらうなかで、今後の課題解決のヒントになることがあったので、やはり議論することは大切だと感じました。



b 「やった、できたよ！」体育指導法講座

目 的	豊かなスポーツライフを実現できる児童を育成するために、体育指導の在り方について、講義や実技・演習を通して理解を深め、教員の資質能力の育成を図る。		
期日・会場	令和元年6月13日(木)・14日(金) 県総合体育センター体育館	参加者数	11人
対 象	小学校及び特別支援学校の教員		
成果・課題	中央研修で学んだ学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりや苦手な子供にも取り組みやすい実技指導の在り方を伝達することができた。		
令和2年度の予定	令和2年6月24日(水)：県総合体育センター体育館 令和2年11月19日(木)：県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」



学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、新学習指導要領改訂のポイントや「指導と評価の一体化」を学びました。

学習指導要領の変更点や基本的な考え方について、ポイントを押さえて話して頂き大変勉強になりました。特に評価については、学校での職員研修で情報を共有していきたいと思いました。

2 実技「陸上運動」「模擬授業の考案・発表」

実技「陸上運動」では、授業ですぐに使える運動をたくさん体験しました。



【投の運動】

運動が苦手な児童に対しての手立てや場の設定がバリエーション豊かで大変勉強になりました。

だれもが安心して楽しく学ぶことができる実技ばかりで勉強になりました。早速実践したいです。



【シンクロリズムハードル】

運動が苦手な児童、意欲的でない児童に対して「どのような指導をしていくのか」という視点でグループに分かれて模擬授業を考案し、発表しました。



【模擬授業の考案】

「運動が苦手な児童」「運動に意欲的でない児童」「見学者」に焦点を当てた模擬授業を行うことで、「みんなが楽しめる授業づくり」に一步近づけたと思います。今後の授業づくりの中で取り入れていきたいと思いました。



【模擬授業の発表】

3 研究協議「体育指導上の課題解決」

各自が抱えている体育指導上の課題について協議し、解決策等を共有しました。



解決方法を考えたり、他のグループの発表を聞いたりすることによって、課題に対する答えがもらえてよかったです。

c 「先生、楽しいね！」 体育授業づくり講座

目 的	豊かなスポーツライフを実現できる児童を育成するために、体育授業の在り方について、講義や実技・演習を通して理解を深め、教員の資質能力の育成を図る。		
期日・会場	令和元年7月25日（木）・26日（金） 県立青少年研修センター	参加者数	24人
対 象	小学校及び特別支援学校の教員		
成果・課題	受講者それぞれがもつ課題を明確にしてから実技、授業体験、模擬授業づくりへ取り組むことで、課題解決を図ることができた。		
令和2年度の予定	令和2年7月30日（木）・31日（金） 県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」「保健学習の進め方」

学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりや保健学習の進め方のポイントを学びました。

現行の学習指導要領と新学習指導要領を比較して講義を進めてくださったので、改訂のポイントがとても分かりやすかったです。今後しっかり読み込んでいきたいです。

実践例をもとに学ぶことで、今までの自分の保健の授業を振り返ることができました。エキスパート活動、ジグソー活動を取り入れ、実生活に生きる学習にしていきたいです。

2 実技「体づくり運動」「模擬授業の考案・発表」

実技「体づくり運動」では、授業ですぐに使える運動をたくさん体験しました。



【体ほぐしの運動】

体験しながら「きっとこれは子供たちも楽しい」と感じ、実際に授業でやってみることが楽しみになりました。

新聞紙を使った運動は、手軽で子供たちも盛り上がること間違いなしだと思います。すぐに実践したいと思います。



【多様な動きをつくる運動】

運動が苦手な児童や意欲的でない児童，見学者に対して「どのような指導をしていくのか」という視点でグループに分かれて模擬授業を考案し，発表しました。



【体づくり運動の授業体験】

自分だけでは思いつかなかったであろう授業展開に触れることができ、新鮮な気持ちになれました。

子供の立場で授業を体験して、教師側が考えておくべきポイントがよく分かりました。



【模擬授業の考案・発表】

3 研究協議「体育指導上の課題解決」

同じ学校規模のグループで、体育指導上の課題を協議し、解決策等を共有しました。



課題を挙げる→実技→授業体験、模擬授業→課題解決という流れがとても分かりやすく、考えがより深まりました。

d 「こんな方法もあります！」保健体育授業づくり講座

目 的	豊かなスポーツライフを実現できる生徒を育成するために、保健体育授業の在り方について講義や実技・演習を通して理解を深め、教員の資質能力の向上を図る。		
期 日・会 場	令和元年8月1日(木)・2日(金) 県立青少年研修センター	参加者数	15人
対 象	中学校、高等学校及び特別支援学校の教員		
成 果・課 題	鹿屋体育大学から講師を招聘し、単元構造図について理解を深めることができた。体育と保健のより一層の関連を図った指導の充実を目指した講座内容を工夫する。		
令 和 2 年 度 の 予 定	令和2年8月6日(木)・7日(金) 県総合体育センター体育館・武道館		

《内 容》

1 講義「保健学習の進め方」

学習指導要領の趣旨に基づいた保健学習の進め方について講義を受けました。

小学校から高等学校までの保健学習の流れを知ることができたので、大変勉強になりました。「生きる力」と密接に関係している保健の授業を大切にしたいと思える内容でした。



2 実技「体づくり運動の実技及び模擬授業の考案・発表」

体づくり運動の実技では、日常的に継続してできる運動を学びました。模擬授業では、実生活に生かす運動計画の行い方をジグソー学習を通してグループで考え、個に応じたプログラムの紹介をしました。

ジグソー学習は初めて行ったが、同じねらいの運動の中にも様々な意見や考えがあり、一度でたくさんの運動を共有できました。



【運動プログラムの考案】

3 研究協議「学校体育経営上の課題解決」

体育経営上の課題について小グループに分かれて協議し、出された意見等を全体で共有し、解決策を考えました。

授業づくりや行事運営等の課題について各学校のアイデアをたくさんいただいたので、2学期に向けて参考にしたいと思いました。



4 講演「学習指導要領の趣旨に基づいた単元計画の考え方」

単元構造図作成のねらいや内容等について講義を受けた後、グループごとに「指導と評価の計画」を作成しました。

体づくり運動をどのように取り入れ、どのように評価していくのかをきちんと計画を立てて実践していくことの大切さを改めて学びました。

e 授業ですぐに使える体育指導法講座

目 的	豊かなスポーツライフを実現できる生徒を育成するために、保健体育指導の在り方について講義や実技を通して理解を深め、教員の資質能力の向上を図る。		
期 日・会 場	〈前期〉令和元年6月20日（木） 県総合体育センター体育館	参加者数	4人
	〈後期〉令和元年11月22日（金） 県総合体育センター体育館		10人
対 象	中学校、高等学校及び特別支援学校の教員		
成 果・課 題	中央研修受講者による実技指導を通じて、学習指導要領の趣旨に基づく指導の工夫や授業改善を図ることができた。 新学習指導要領を踏まえた講座内容を工夫する。		
令 和 2 年 度 予 定	令和2年7月3日（金）：県総合体育センター体育館 令和2年11月26日（木）：県総合体育センター体育館		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた体育の授業づくり」

学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて学びました。

新学習指導要領や学習評価について再確認するいい機会となりました。



2 実技「前期：体づくり運動、後期：球技（ネット型）」

体づくり運動では、用具を使わずに日常的にできる運動の指導法について学びました。球技（ネット型）では、バレーボールとバドミントンの段階的指導法について学びました。



【体づくり運動】

ペアで行うものからグループで行うものまでどれも楽しく取り組める内容でした。

「何を身に付けさせたいのか」の目的を明確にすることで、人数やコート、ルールにこだわることなく、たくさんの方で実施できることが分かりました。



【球技（ネット型）】
（バレーボール）

3 研究協議「学校体育経営上の課題解決」

学校体育経営上の課題について小グループに分かれて協議し、出された意見等を全体で共有し、解決策を考えました。

先生方と単元を絞って話をするので、より深い話し合いができました。また、実技の研修で解決できたことや他のグループで話し合われた内容からも納得することがたくさんありました。



イ 自主研修講座の充実
 (7) 「体育好きを育てる」指導法講座

目 的	講義や実技，研究協議を通して，体育・保健体育指導上の課題解決を図り，離島に勤務する教員の資質能力の育成を図る。		
期 日・会 場	令和元年 7 月 30 日（火） 徳之島町立亀津小学校	参加者数	40 人
対 象	大島地区の全校種の教員		
成 果・課 題	実技・演習を通じて，校種を超えた授業改善についての意見交換をすることができた。講座の内容や日程等について，関係教育事務所や教育委員会と連携を図り，講座の実施について周知を図る。		
令 和 2 年 度 予 定	令和 2 年 8 月 4 日（火） 大島地区（奄美大島）		

《内 容》

1 講義「学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくり」

学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて，新学習指導要領改訂のポイントや「指導と評価の一体化」の大切さを学びました。

体力づくりのことばかり考えていましたが，楽しく安全な体育をした結果，体力がつくということを知ることができました。



2 実技「体づくり運動」

体づくり運動について，すぐに使える手軽な運動や用具の工夫等について学びました。

自分も運動が苦手でしたが，周りの先生方と協力しながら活動することで楽しんでできました。子供達にもこのような気持ちを味わわせたいと思いました。



【体の動きを高める運動】

少ない人数でもできる内容であったため，小規模校でも実践できると思いました。また各運動のねらいが明確であったので，大変分かりやすい内容でした。



【体ほぐしの運動】

3 研究協議「体育指導上の課題」

体育指導上の課題について同じ校種の小グループに分かれて協議し，考えを共有しました。

体育を通して各学校の様子や様々な子供達への対応の仕方など勉強になりました。体育の授業づくりのヒントをたくさんもらえました。



(イ) 体育授業づくり来所研修

目 的	豊かなスポーツライフを実現できる児童生徒を育成するために、講義や実技を通して教員の資質向上を図る。		
期日・会場	令和元年8月8日(木)・9日(金)・20日(火) 県総合体育センター体育館	参加者数 (延べ人数)	65人
対 象	全校種の教員		
成果・課題	夏季休業中に体育の研修を希望する先生方に、授業づくりや実技についての情報提供ができた。ニーズに応じた研修プログラムを組むことで、参加者数の拡大を図る。		
令和2年度の予定	令和2年8月19日(水)・20日(木) 県総合体育センター体育館		

《内 容》

第1回(8月8日)「みんなで楽しもう」～共生の視点に立った授業づくり～

パラリンピック競技の体験等を行いました。



【シッティングバレーボール】

パラリンピックで行われるスポーツを「知る」という形で関わることができてよかったです。

初めてパラリンピック競技をしてみると、道具やルールがシンプルなので小学生にも応用していけると思いました。



【ボッチャ】

第2回(8月9日)「もっといろいろやってみたい!体づくり運動」

小・中・高の体づくり運動の実技を行いました。



【体ほぐし運動】

初めて中・高の体づくり運動に取り組み、つながりを知ることの大切さを感じました。

指示するだけの授業ではなく、「何に気付いたか」「どんなことを感じたか」等、想像力を働かせる手立てをしていきたいです。



【ボールを使った運動の組み合わせ】

第3回(8月20日)「なるほど、わかった・できた!器械運動」

「マット運動」「跳び箱運動」「ラジオ体操」の実技を行いました。



【後転の補助】

私自身器械運動に苦手意識がありましたが、補助してもらいできたときは本当に嬉しかったです。この気持ちを味わってもらうために上手に補助をしていきたいです。

今まで自分が行ってきたラジオ体操と全く違ったので、とても勉強になりました。



【ラジオ体操】

ウ 各種研修会や校内研修会等への職員派遣

目 的	県立学校や市町村教育委員会等が行う研修会への講師派遣要請に応じて、県総合体育センター職員を派遣し、体育の授業改善や教員の資質向上に努める。
期日・会場	○ 年間を通して（※講座等の開催時期により実施できないことがある。） ○ 申請者が指定する場所
対 象	教員等
成果・課題	講師派遣回数が増加傾向にある。総合体育センターだよりなどでの広報活動を積極的に行う。
令和2年度の予定	県立学校、市町村が行う研修会等への講師派遣となる。 ※ 県総合体育センターのホームページにより広報する。

《内 容》

派遣実績

研修会名	期日	会場	人数	内容
第82期鹿児島県消防学校初任教育生指導	4月12日（金）	鹿児島県消防学校	74	体育理論（講義）及び体力向上（実技）の指導
鹿児島県立農業大学校1年生共通講義「体育」指導	4月15日（月）	県立農業大学校体育館	85	体育実技（仲間づくり）の指導
曾於地区小体連体育実技研修会	8月5日（月）	大崎町立大崎小学校	22	体育実技「体づくり運動」の指導
日置市体育指導法・実技講習会	8月19日（月）	伊集院総合体育館	11	体育実技「体づくり運動」の指導

【その他の受入研修】




【生涯スポーツ指導実習受入れ】



【広域スポーツセンター研修会実技研修】

(2) 学校体育に関する資料の提供（ホームページ）

<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p>1 お知らせ 「学校体育に関する研修の充実」に役立つ講座等の案内 ○ 夏季自主研修講座「体育授業づくり来所研修」 ○ 職員派遣事業 ○ 年間事業計画</p> <p>2 事業紹介 講座や研修会の紹介等</p> <p>3 事業結果 「学校体育に関する研修の充実」に役立つ講座や研修会の結果紹介（活動の様子、参加者の感想など） ○ 掲載例（体育授業づくり来所研修から）</p>  <p>4 指導資料 体育・保健体育の授業づくりや集団の仲間づくりに活用してください。 ○ 学校体育実技指導法講座資料 ○ 「体づくり運動」実践指導資料</p>
<p>ホームページ アドレス</p>	<p>www.pref.kagoshima.jp/kikan/taiku/index.html</p>